

伊藤ひろし県議会報告

発行/伊藤ひろし千葉県議会議員事務所

〒275-0026 習志野市谷津2-1-15 電話047(779)3385

習志野区域も含む県営水道305万人

仮設給水栓

断水時の頼みの綱

応急給水訓練で使用法習熟



令和2年12月定例県議会で一般質問を行う

長期停電や豪雨災害の対策強化を提案

市民が「習志野市にずっと住みたいまち」にと、日々全力投球している私、伊藤ひろし(習志野市選出、1期)は12月県議会で登壇しました。防災士の資格所有者である私は災害時の対応に焦点を当てて質問、災害による断水時の仮設給水栓、河川災害の水防活動について森田知事ら県執行部に提案し、考えを聞きました。

伊藤ひろし 水道はインフラの中でも、重要なもののひとつ。大地震や台風などの自然災害により水道管の破損被害、また、停電により集合住宅の送水ポンプが停止になるなど、長期間にわたる断水が発生すると、県民生活への影響は甚大なものになる。

県営水道は避難所や避難場所と、その周辺の消火栓などを活用し、仮設給水栓と資機材を活用して応急給水を行うことを認めている。

断水した際、給水拠点がない住宅の近くにあることは、高齢者が多くなる現状において、非常に助かる。



仮設給水栓 (消火栓などを活用)

このため、発災時に学校等の給水拠点で応急給水が実施できるよう覚書を締結し、市に応急給水用仮設給水栓を貸与しているところ

この覚書では、市の職員が企業局職員との合同訓練を行ったうえで、各市において毎年訓練を実施し、仮設給水栓の使用方法を習熟することとしています。

今後とも、災害時において速やかに応急給水を実施できるよう取り組んでまいります。

再質問

伊藤ひろし 給水区域各市が、仮設給水栓を用いた応急給水訓練の充実を図るよう、県営水道からも働きかけるべきと考えますが、いかがでしょうか。

企業局長 県営水道では、

要望

伊藤ひろし 県営水道の給水事業体の使命として、給水区域市の応急給水による充実に向けて、仮設給水栓による訓練や場所選定を推進するための指導・協力をするよう要望します。

伊藤ひろしプロフィール

略歴

- 1975年 10月生まれ(45歳)
- 1994年 東海大学付属洋南高校卒
- 1998年 東海大学政治経済学部卒
- 2007年 習志野市議会議員当選(3期)
- 2019年 千葉県議会議員当選

現職

- 県議会 総合企画企業常任委員会副委員長
- 千葉県水道事業運営審議会委員
- 習志野健康福祉センター運営協議会委員

資格

- 中学・高校教員免許、防災士

登壇(令和2年12月9日)の録画中継をインターネットからご覧いただけます。

千葉県議会インターネット中継 検索 録画中継 議員から検索 伊藤寛

習志野3河川を含む県内218河川

河川災害

確実な水防活動を

氾濫想定力所での実働訓練を



災害対策の強化を質問する

伊藤ひろし 最近、全国的に短時間で局地的に多量の降雨をもたらす集中豪雨が増え、ひとたび河川が氾濫すると浸水範囲は大きく広がり、都市への人口集中も加わって浸水被害は甚大になる。本県においても、昨年、3つの大きな風水被害が連続して発生した。

10月25日の記録的な大雨は半日で平年の10月1カ月分を超える雨量を記録し、県内では高崎川、一宮川を初め、19もの河川が越水により広範囲に浸水し、多くの住民が床上、床下浸水の被害を受けた。

河川改修などの治水事業

は着実に進んでいるが、財政状況や整備水準を上回る洪水の発生により、治水事業のみで完全に被害を防ぐことは困難で、水防活動が重要になっている。河川災害対策において治水事業と水防活動は車の両輪だ。

そこだろうかだが、河川の災害対策のための水防活動を確実に実施するためにどう取り組んでいるか。

知事 県は、洪水や高潮等による被害を未然に防止・軽減するため、千葉県水防計画に基づき水防活動を行うております。

具体的には、気象情報や水位を常時監視し、洪水時

などには、県管理河川を巡視し、必要に応じて対応を行うとともに、避難行動の開始の判断基準となる水位に達した際に、市町村等関係機関において必要な対応が図られるよう、その旨直ちに通知しています。

また、災害が発生した場合に、災害協定に基づき、千葉県建設業協会等とともに防災活動を行っている

さらに、出水期前に、市町村等関係機関と一体的かつ確実に水防活動を実施できるよう、情報伝達訓練や現地対策訓練に取り組んでいます。

伊藤ひろし 毎年実施される水防訓練では、「重要水防力所位置図」や「水位周知河川における洪水浸水想定区域図」、「小規模河川の氾濫推定図」を活用し、市町村と県、そして応援派遣要請機関などによる、水害想定現地力所での実働訓練・工法作業訓練を実施することを要望する。

現地調査と議会報告会

水道施設の非常用自家発電設備

習志野市（県水エリア）の蛇口から出る“水”の給水に必要な水道施設の停電対策を調査しました。国が示す「停電時72時間継続給水」に向けて自家発電の整備、燃料タンクの補給体制の強化を議会で質問しました。



給水・幕張給水場（千葉市美浜区）



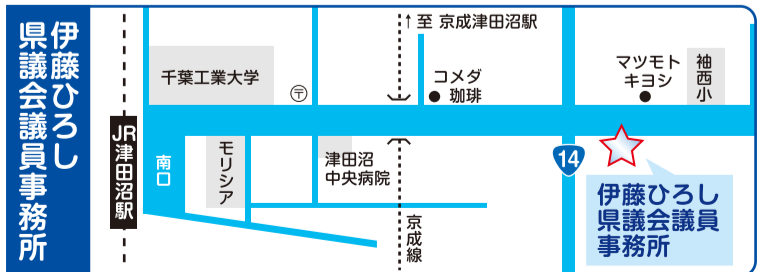
浄水・柏井浄水場（千葉市花見川区）



▲原水・木下取水場（利根川・印西市）

県政報告会

コロナ感染防止対策に取り組みながら毎月、開催しております（緊急宣言期間は中止）。



引き続き、「習志野 ずっと住みたい まち計画」をスローガンに、世界一の都市創造に向けた一環「市民の命を守るまちづくり」に向けて活動していく所存です。皆様のご指導を宜しくお願い致します。

伊藤 寛